



ものづくり × デジタル → 待ったなし！

中部産業連盟主催

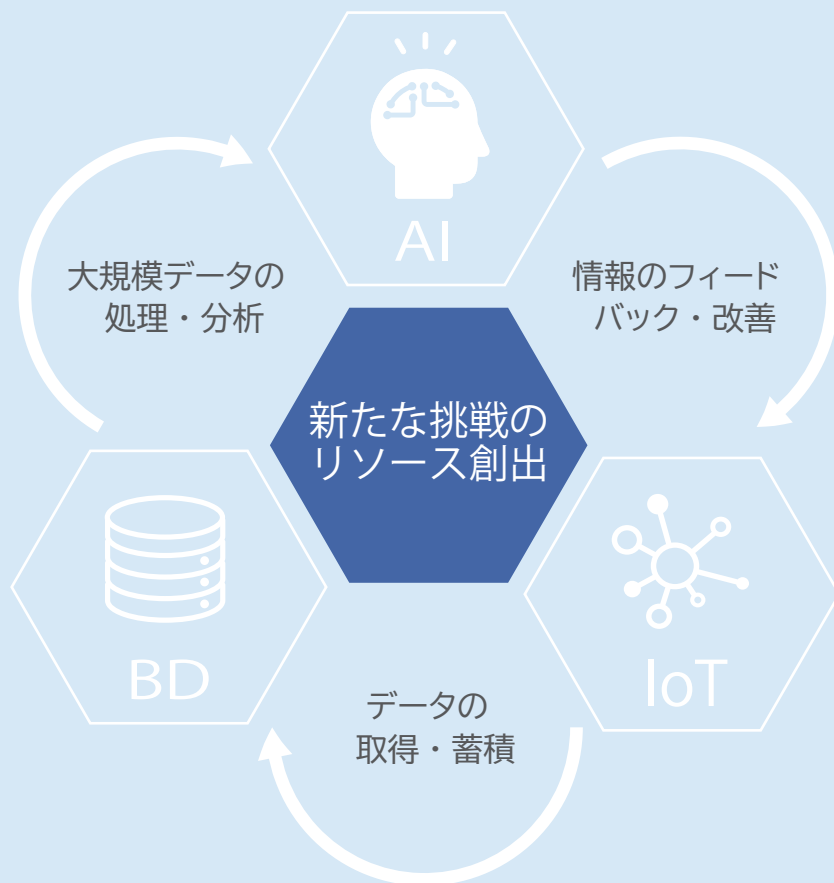
ものづくり ITブリッジ 人材育成プログラム [第6期]

2025年 4月21日(月) 開講 2025年8月まで

全7回

定員:18名

ものづくり企業の経営と現場最前線の橋渡し【ブリッジ】の役割を担う
IT・データ活用に強い人材を育成・専門性向上を目指すプログラム 始動！



<研修の特徴>

将来の成長が強く見込まれ、雇用創出への貢献が期待されているIT・データ分野で実機を用いた演習や企業訪問などを通して、現地現物で学ぶことができます。

ものづくり ITブリッジ人材とは

<目指す姿>

IT・データを中心とした分野における技術や手法等を活用して、業務上の課題の発見と解決をリードする+後進育成にも貢献できる人材を目指します
個のデジタル力 × 他者を巻き込み成果を刈り取るマネジメント力

<企業向け> 厚生労働省の教育訓練支援制度等との連携

人材開発支援助成金の支給

Re スキル講座を従業員に受講させた場合、令和4年度から5年間は、人への投資促進コースにおいて訓練経費や訓練期間中の賃金の一部について、通常よりも高い助成率・助成額で助成金が受けられます。

助成率 / 助成額

	中小企業	大企業
経費助成	75%	60%
賃金助成	960円	480円 / 1人1時間あたり

日程

テーマ

内容

受講者の声

日程	PROGRAM 1	PROGRAM 2	PROGRAM 3	PROGRAM 4	PROGRAM 5	PROGRAM 6	PROGRAM 7
4/21 Mon.	5/12 Mon.	5/26 Mon.	6/9 Mon.	6/23 Mon.	7/7 Mon.	2025.8.25(Mon.)	
	デジタルによるものづくりの変革 AtoZ			ロジスティクス サプライチェーンのデジタル化	最新技術による間接業務変革	リスク対応を考えたプロジェクト 全体統括/実行計画の立案	実践報告会 (2ヶ月間の実践成果報告)
	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりITブリッジ 人材像の理解 生産工程の把握「鳥の目」編 模擬ラインを使った改善演習 	<ul style="list-style-type: none"> IT技術をフル活用する着眼 データ活用における 現場の把握「虫の目」編 (人・設備・品質) 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル活用最前線の 現場見学 データ活用における 運用課題ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 最新物流倉庫に学ぶ 自社の物流/SCの 問題の考察 PROGRAM1~3の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 定型業務改善に即効 「RPA」を体験的に学ぶ AI、クラウドサービスの 最前線から自社の間接業務 改善の糸口を探る「魚の目」編 	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ、投資回収、 プロジェクト管理でリスクを 低減し、スムーズなPJ推進を 実現する「心の目」編 実行計画の立案 	
	<p>① オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ブリッジ人材とは 時代の潮流への対応 求められる技術/スキル 	<p>① IT技術の歴史と技術革新</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業革命の歴史とIT IoTの基盤技術 人工知能AIの基礎技術 	<p>①② デジタル活用現場見学 @先進ものづくり企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 会社概要紹介 現場での稼働状況把握ツールの説明 経営者の考え方と現場への展開 	<p>①② 物流面でのデジタル 利活用を最前線の 現場で確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に明確化した 自社の物流問題を踏まえて 見学、質疑 	<p>① RPAの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> RPAの有効性 業務改善のポイント RPA活用事例 	<p>① IoT導入にかかる 情報セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティの現状と課題 被害事例からの考察 	
	<p>② 生産工程の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場管理とは 製造現場のムダ 稼働分析 	<p>② データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> データの活用の重要性和注意点 現場管理とIT活動 		<p>③ ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 物流/サプライチェーンの 諸問題にデジタルを 如何に活かすか 	<p>② RPAを使ってみる</p> <ul style="list-style-type: none"> 【演習】業務改善を体感してみる 自社業務で活用した場合の 運用と期待効果 	<p>② 費用対効果の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> IT投資の評価方法 IT投資効果の確認方法 【個人ワーク】定着度確認 	
	<p>③ 改善の着眼点</p> <ul style="list-style-type: none"> 製造現場の改善における時間分析 設備改善、生産活動におけるロス 工程分析と改善 	<p>③ 人の生産性</p> <ul style="list-style-type: none"> 見える化技術 管理面の自動化 	<p>③④ ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> PROGRAM1, 2の講義内容を 踏まえて明確化した自社の 課題・方向性の共有 事前に設定した見学の着眼点、 注意点についての感想、質疑 運用面での課題検討 	<p>③ ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルによる改善を 実践することを想定した テーマ選定 	<p>③④ 業務改善に貢献する 最新デジタル技術の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> AIの実際と課題 事例から学ぶAI活用のコツ (プロンプト・エンジニアリングなど) クラウドサービスの最前線 	<p>③ リスクを回避する プロジェクト管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 要求仕様と機能整理 	
	<p>④ 模擬ラインの改善【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題点の洗い出し 改善の実践 改善案のまとめ 	<p>④ 設備の自動化・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備総合効率と見える化 		<p>④ ここまでの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に活用できそうなツールを 紹介して頂いた 事例紹介が多くよくわかった 	<p>④ RPAについて抱いていた イメージが講義により具体化できた</p> <ul style="list-style-type: none"> 早速社内の業務に適用して 改善したい 	<p>④ 事前課題発表とアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> 改善のステップ確認 企画書(改善シート)にまとめた 計画を発表、コンサルタントが助言 	
	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり現場の視点で必要な 情報を認識することができた 模擬ライン演習は手を動かしながら しっかり考えることができ、 理解が深まった 	<ul style="list-style-type: none"> 難しいところもあったが、動画など を多用した講義で理解が進んだ 具体例が豊富でわかりやすく、 実際に活用できそうなツールを 紹介して頂いた 				<ul style="list-style-type: none"> 事例も多くわかりやすかった 情報セキュリティについては 専門ではないがデジタル化の中で 避けては通れない問題だとわかった 	



大好評シリーズ ブラッシュアップして第6弾 開講！

全7回

ものづくり  ITブリッジ人材育成プログラム

PROGRAM 1	デジタルによるものづくりの変革 AtoZ ①／生産工程の把握「鳥の目」編 2025年 4月21日(月) 会場:中産連ビル研修室
PROGRAM 2	デジタルによるものづくりの変革 AtoZ ②／現場の把握「虫の目」編(人・設備・品質) 2025年 5月12日(月) 会場:中産連ビル研修室
PROGRAM 3	デジタルによるものづくりの変革 AtoZ ③／デジタル活用最前線の現場見学 2025年 5月26日(月) 会場:先進ものづくり企業様(現場訪問)
PROGRAM 4	ロジスティクス(工場内運搬、出荷、物流など)／サプライチェーンのデジタル化 2025年 6月 9日(月) 会場:先進物流企業様(現場訪問)／近隣会場
PROGRAM 5	最新技術(RPA、AI、クラウドサービス)による間接業務変革 2025年 6月23日(月) 会場:中産連ビル研修室
PROGRAM 6	リスク対応を考えたプロジェクト全体統括／実行計画の立案 2025年 7月 7日(月) 会場:中産連ビル研修室
PROGRAM 7	実践報告会 2025年 8月25日(月) 会場:中産連ビル研修室

中産連コンサルタント陣が、
具体的な現実問題に
フォーカスして寄り添い、ご助言し、
総力を上げて受講者並びに所属企業様を
ご支援します。

▶ いずれも9:30～16:30開催(PROGRAM3・4は別途日程)

受講いただきたい方

自社のものづくりの諸問題や課題(足元のQCD等にかかわる焦眉のものから、未来の価値創造に向けた革新的なものまで)を、デジタルの力で解決・達成する使命を背負った人材にお薦めします。年齢、階層は問いません。

受講料

中産連会員:250,000円(税込275,000円) 中産連会員外:270,000円(税込297,000円)

申し込み方法

中部産業連盟HPまたは右記QRコードよりホームページ申込フォームにアクセスいただき、必要事項をご記入の上、お申し込みください。



主催



〒461-8580 名古屋市東区白壁 3-12-13
一般社団法人 中部産業連盟 生産・業務革新推進部 朴
TEL: 052-931-9825 Email: jms@chusanren.or.jp